

# 搾乳ロボットデータ活用による給与飼料調整の支援（釧路農業改良普及センター釧路中西部支所）

## 背景

### 【白糠町の概要】

○酪農主体の地域であるが、近年離農が進み、酪農家戸数が減少

○地域酪農の継続に向けて、R3年4月より町で初となる4戸の協業法人が稼働

○協業法人は搾乳ロボット（以下、搾ロボ）を導入し、搾乳作業の省力化を図る

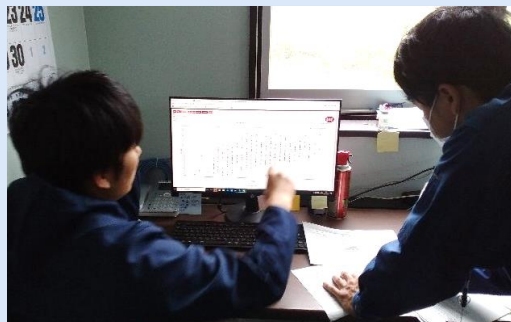


### 【地域の課題】

○搾ロボから得られるデータを活用した、飼料給与量および栄養濃度調整による乳量の向上

## 普及活動内容

○搾ロボから得られる個体乳量、搾乳回数などのデータを確認



○R3年5月より、データおよび牛の状態を見ながら、牛群の泌乳ピークに合わせた搾ロボ内給餌量およびPMR(※) 栄養濃度の調整を支援



※PMRとは、全給与飼料から搾ロボ内給餌分を除いた混合飼料

## 普及の成果

### 【具体的な成果】

○牛の栄養要求量に合わせた飼料給与が実践され、R4年1月より個体乳量が向上し、出荷乳量も増加した

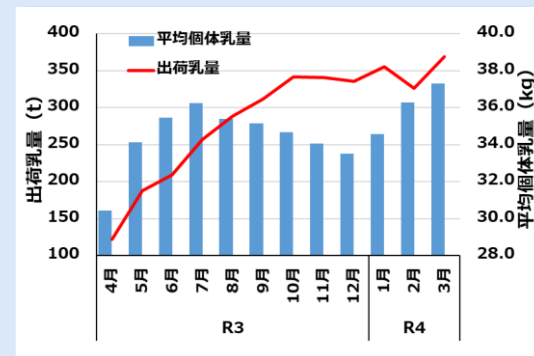


図 個体乳量および出荷乳量の推移

### 【成果のポイント】

○搾ロボデータを飼料給与に活用したことで、生乳生産性の向上につながった

○データの活用は、農業者自身で継続的に取り組まれている